

よもつひらさか  
**黄泉比良坂**  
黄泉への入り口

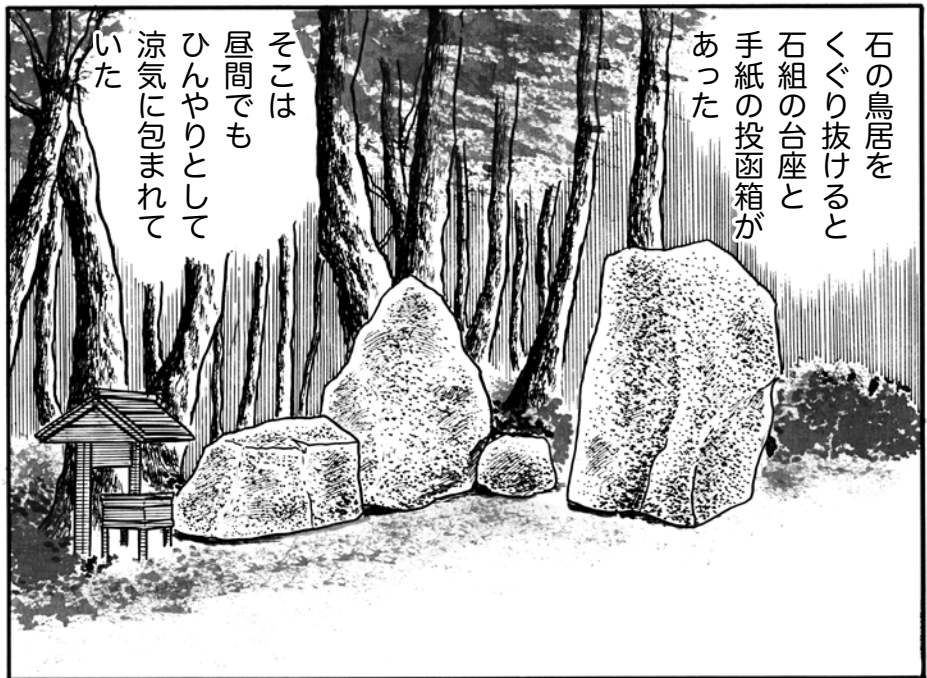
あなたはご存知ですか  
亡くなった人にもう一度  
会いたいと訪れる場所が  
ある事を――

人気がない山道の奥へ進むと  
あの世とこの世とをつなぐ  
場所があると以前から噂  
されていた――

黄泉比良坂

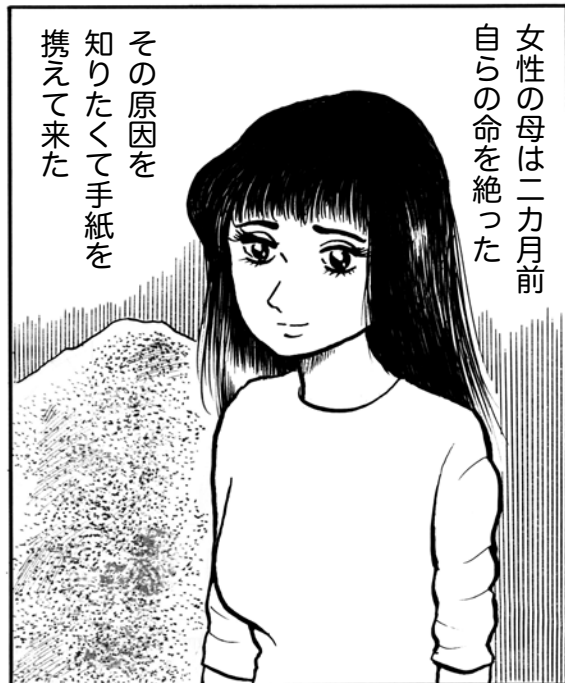
ここは島根県の  
よもつひらさか  
黄泉比良坂である

緩やかな坂を  
上がり下りすると  
石の鳥居が  
見えてくる



石の鳥居を  
くぐり抜けると  
石組の台座と  
手紙の投函箱が  
あった

そこは  
昼間でも  
ひんやりとして  
涼気に包まれて  
いた

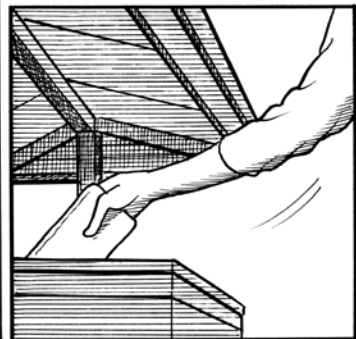


女性の母は二カ月前  
自らの命を絶った

その原因を  
知りたくて手紙を  
携えて来た



そこへ一人の  
女性がやって  
来た





それじゃ母さん  
私帰るね



母さん 手紙を  
読んだら真相を  
教えてね約束よ



女性は来た道を  
戻って行った



英実子

一週間後  
女性は母の  
夢を見た



手紙を読んだわ  
私が自殺した原因は  
誰にも知って  
ほしくなかった  
けど……

英実子をこれ以上  
苦しめておく事は  
出来ないよね  
私の口から言えないは  
右端にいる人に聞いてね

右端の男は  
父の弟だった



夢は  
そこで  
終わった

女性は正夢か  
どうか調べる  
事にした

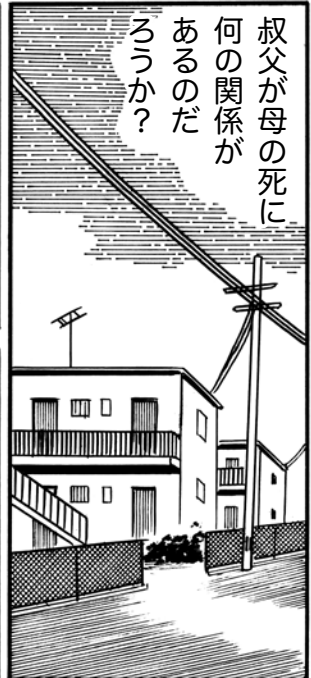


女性の父は  
五年前に  
病死した



叔父は  
歩いて行ける  
隣町に住んで  
いた

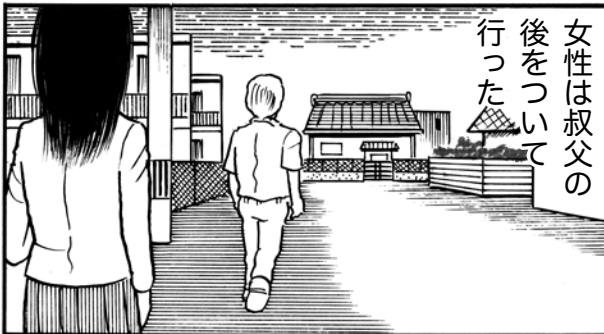
叔父が母の死に  
何の関係が  
あるのだ  
ろうか？

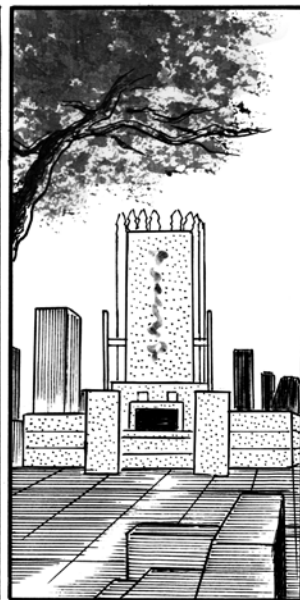
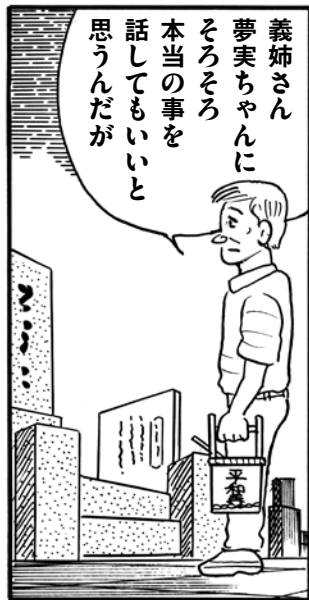
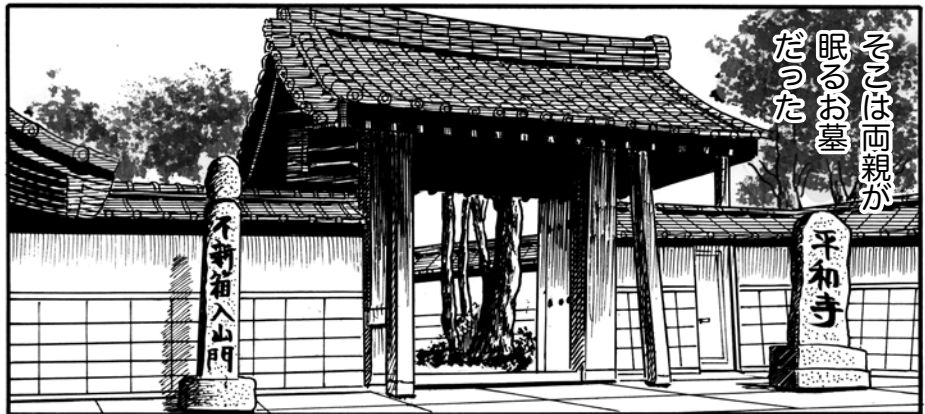


叔父が家から  
出て来た



女性は叔父の  
後について  
行った







義姉さんは  
わしのために  
複数の所から  
金を借り支援  
してくれた



そのお陰で一時は  
事業を立て直せたが  
しばらくして  
また負債を抱え  
倒産してしまった

結果的にわしが  
義姉さんを死に  
追い詰めた  
張本人なんだ



今日は母の  
月命日毎月  
お墓にお花が  
供えられて



いたのは  
もしかして  
叔父さん  
だったの？



それくらい  
しないと  
わしの気持ち  
おさまらない  
んだ



ありがとう  
叔父さん…



ぶ





母が自殺を  
した理由が  
分りました

それが母の  
運命だったの  
でしょう



ええ

わしを許して  
くれるのかい  
？



女性は黄泉比良坂へ  
訪れた事で母の死の  
真相を知る事が出来た

この場所は立派な  
社殿もなく  
しめ縄がされた石柱と  
巨石とがあり  
黄泉の国とつながって  
いるかのような神秘的な  
空気をかもしだしていた